

4 章 The associative machine (サブタイトルはなし。意識)

p.95 連想活性化 ⇒ associative activation

これらはごく短時間で、しかも同時におき、

⇒ All this happens quickly and all at once, yielding a self-reinforcing pattern of cognitive, emotional, and physical responses that is both diverse and integrated – it has called associatively coherent.

これら全ては、多様でありながら統合された認知的、情動的そして身体的な反応の自己強化的パターンを生成しながら、あっという間にまた全て同時に起こる。この性質は「連想的な一貫性」と呼ばれている。

p.96 の最初の段落は、原文を確認のこと。原文の表現の難しさから考えると、かなりの意識だが、わかるように書かれている。

認知は身体化されている ⇒ cognition is embodied. (認知には身体が不可欠という考え方。特に脳科学やロボット研究から)

観念 ⇒ idea 哲学の訳語

類似、時間と場所の近接性、因果律 ⇒ resemblance, contiguity in time and place, and causality

連想ネットワーク 意味ネットワークとも呼ばれる。参考図書 p.45 のスキーマなども参考に。

ネットワークには、意味を表現するための「構造」(リンクなど)が定義されている。

p.97 プライミング効果については、参考図書 p.92 から。

p.98 は、NTT、日本語の語彙特性。語彙の頻度や連想(親密度)を示した辞書 1-7 (なじみがあるか)

p.99 フロリダ 高齢者の移住先 ここでは直接「老人」というプライムでない。間接プライミング

p.99 明らかに遅かった ⇒ significantly 統計的検定の重要語 有意に

p.100 イデオモーター効果 考えることが運動にも影響を与えること ただしここでは間接的

p.100 整合的 ⇒ coherent

p.100 双方向のリンク ⇒ reciprocal 社会心理学では、互惠的

p.104 見張られている ⇒ Big brother is watching (小説 1984 の有名なスローガン) 見守っている

p.104 Lady Macbeth effect: マクベス夫人 劇中で、罪の意識から、夜に「血を見て」手を洗う。

p.106 ミルクの honesty box (正直箱) の例 無人販売所の代金箱

p.108 系統的エラー ⇒ systematic error 一定の規則(仕組み)に従った、という様子

5 章 COGNITIVE EASE

p.110 数値の評価 ⇒ assessment

p.115 なじみの印象 ⇒ the impression of familiarity

p.122 頭が楽なら ⇒ mind at ease puts a smile on the face

p.122 ティッカー ⇒ ticker 株式市場で使用される略称

p.126 青 ⇒ 原文は、light

p.127 直観指数 ⇒ intuition index

実験参加者には、自分のよい感情に対する別の解釈を与えるカバーストーリーが与えられた。「この音楽は個人の感情的な反応に影響を与える」